会議議事録（要旨）

会議の名称	令和5年度 第2回東広島市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和6年3月26日（火）13:30～15:00
開催場所	東広島市役所本館4階 会議室404
出席者氏名	坂田委員（会長）、小坂委員（副会長）、小勝負委員、坂本委員、住田委員、藤本委員、前延委員、
欠席者氏名	市場委員、越智委員、財満委員、高橋委員、山平委員
事務局職員氏名	生活環境部 中村部長、人権男女共同参画課 中川課長、小田係長、森岡主査（柗ぎょうせい 中国支社 木村担当課長、広島分室 山内主任研究員）
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> 議題1 会長・副会長の選出 議題2 男女共同参画推進事業の令和5年度の取組状況及び令和6年度の実施計画 議題3 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定に係る市民意識調査結果等について 議題4 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定について 3 その他 <ol style="list-style-type: none"> 連絡事項等 4 閉会
配付資料	<p>資料1-1 男女共同参画推進事業の令和5年度の取組状況</p> <p>資料1-2 令和6年度の実施計画</p> <p>資料2-1 東広島市 男女共同参画に関する市民意識調査・事業所調査 報告書</p> <p>資料2-2 東広島市 男女共同参画に関する市民意識調査・事業所調査 報告書 ー概要版ー</p> <p>資料3-1 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）の施策体系を検討するにあたっての考え方（案）</p> <p>資料3-2 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定業務令和6年度スケジュール（案）</p> <p>資料3-3 後期実施計画の施策体系の考え方</p> <p>次第、審議会規則、委員名簿、座席表</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・新委員の紹介 ・出席者の確認 ・計画策定業務受託業者（（株）ぎょうせい）の紹介 ・部長挨拶 ・配付資料の確認 ・議題1 会長・副会長の選出（会長→坂田委員、副会長→小坂委員） ・坂田会長、小坂副会長挨拶
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、議題2から議題4まで審議いただくが、特に議題3と4が重要な部分となっている。また、審議会の終了時間を15時に設定しているため、皆様のご協力をよろしくお願いしたい。 ・議題2 男女共同参画推進事業の令和5年度取組状況及び令和6年度実施計画について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題2（資料1-1、1-2）説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
前延委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一部講座やセミナー等で参加者が少ないとのことだが、周知に関し広報媒体等はどのようになっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・通常、市の広報紙、ホームページ、チラシ、市民ポータルサイト掲載で、周知を図っている。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・No.②おしゃべりカフェ9月から10月の開催から、夏と秋に分けて開催を検討と言われたが、秋は他の講座もたくさんあり、行きたくてもいけない人も多く出ると考えられる。また、夏も、夏休みの時期だと出かけるのが難しい人も多いのではないかと。夏休みを避けて、5月や6月等、お母さん方が負担にならない日程を設定していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見をありがとうございます。 ・本日お聞きしたことを（そういった観点からも）参考に、また検討していきたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでのワークライフバランス講座について、現在430回程視聴されていると説明があったが、市としては、どの程度を見込んでいたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講座は、昨年、一昨年も行っており、その実績から350件を見込んでいた。 ・今回途中経過だが400件は越えており、一定の成果はあったと見ている。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他のオンライン講座（もしあれば、市のYouTube講座等）との比較はされているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、他の講座との比較は行っていない。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見等無いようであれば、これで進めていただきたい。 ・続いて、議題3 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定に係る市民意識調査結果等について、事務局より説明願いたい。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題3（資料2-1、2-2）説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・調査内容検討の際、全国一律に入れないといけない決まった項目があるように思う。今回の集計の中で、他自治体と比べ、本市の特徴的なものは何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴的なものはいろいろあるが、大きなものでわかりやすいポイントは、（報告書P67の）国、県、本市3者を比較したもの。これは、全国的に行っている質問項目で、「(2) 職場」で「男性優遇」の割合が国、県と比較して、本市は大きく下回っているのが1点。 （「(5) 政治の場」では国、県、市でかわらない） ・また、「(4) 地域社会の場」において、若い人が多いはずの本市で、若い人が参加していないということ。
坂田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「(2) 職場」で「男性優遇」の割合が国、県と比較して少ないことや、「平等」や「女性優遇」の割合が大きいことについて、他の項目調査との関係から、どう解釈しているのか。個人的には、事業所調査の結果に危機感を覚える結果が多い。 ・客観的に事業者調査の結果を見たときに、それほど男女共同参画が進んでいるようには見えないのに、「平等」や「女性優遇」の割合が大きいことはどう解釈したらよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の場合は、まさに現場でどうするか判断を迫られているところがある。 ・事業所でも市民でも、少しずつ男女共同参画という言葉は、マスコミ、雑誌、ネット等で認識されているのは間違いなく、理解は進んでおり、理解が進んでくると、DVを受けたことがあるとの認識も増えてくる。 ・そういったところを考えると、事業所も危機感を持ってやっているだろうということが見えてくるが、事業所の規模によって異なる。大企業は各種制度を取り入れているが、中小企業は対応がなかなか難しいとの声があった。
坂田委員（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでいろいろ大変だったと聞いている。 ・他に、質問や意見があれば伺いたい。
前延委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この特徴として、報告書（P7）に「男女用同参画の推進に行政が力を入れるべきこととして『学校での男女共同参画についての教育を充実する』というのが一番多く回答されているが、他のアンケート項目と比べて、なぜこれが高い位置にあるのか、背景等の気付きがあればお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりこれとは言いにくいですが、先ほど年齢別のところで説明した、年齢が高くなるほど反対や賛成に偏るということがある。年を重ねた方がこれから意識を変えるということはなかなか難しいということ、市民の方も少しずつわかっているのではないかと感じている。 ・そのため、子どもの頃から、草の根運動的に、こういった教育を推進していくべきとの意識の表れではないかと感じている。

議事内容（要旨）	
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会で、健康づくりの調査項目について発言した。その結果について、若い人の健診・受診率が低いとの結果が出ているが、この健診について、市の介護保険事業計画とか健康づくり計画とかで、同様の調査がされているのではないかと発言をしたが、今回の受託業者の方で、市の他の計画とこの男女共同参画の計画を比較はされたか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果が出たところであり、比較等はこれからやっていきたい。 ・おそらく、健康づくり推進計画、健康21の計画を市が作成していると思うが、何種類か調査をしていると思うので、提供してもらい比較等を行う。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そうしてもらえると、内容も充実すると思う。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・他に、質問や意見があれば伺いたい。 ・無いようであれば、次の議題にいくが、報告結果についても、引き続きご意見をいただきたい。 ・それでは、議題4 第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題4（資料3-1、3-2、3-3）説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
前延委員	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性は検討いただいているが、具体的に施策を組み立てるときに、市内の包括支援センターや子育て支援センター等、いろいろな事業の窓口があり、そこをいかに活用するか、いろいろなジャンルの拠点にいかに結び付けるか。 ・かつて、子育てするなら東広島といった政策をかなり行っているのだから、その資源を使わない手はないのではないかと。事業をリンクさせて、連携して行うように、関係機関と連携して取り組んでいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前延委員が地域の子育て支援センター等の活用を言われた。先ほど、出張おしゃべりカフェで集客が少ないとの話があったが、まさしく、そういったところは子育て支援センターへ出かけて行って開催したもの。 ・子育て世代に直結している場で、人が一番集まる場所なので、内容などで集客が少なかったこともあるが、そこを活用しない手はないだろうと思うので、その方法等については課題と捉えて実施していきたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見に賛同する。 ・「エスポワールの認識」の調査では、認識されていないとの結果が出ている。エスポワールの近くに図書館があり、各支所、地域センターにも図書館などあり、また最近の図書館は地域でのイベント等を幅広くされている。パンセの会も保育所と連携し活動されている。 ・男女共同参画の推進というのは、統合されたものなので、今後は、保育所だけでなく、図書館やいろいろな機関と連携をしながら、周知・働きかけを行うのが効率の良いやり方だと思う。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・他の委員で質問や意見があれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
坂本委員	<ul style="list-style-type: none"> 市内には、いろいろな機関があり、そことの連携は必要。また、男女共同参画に関係する機関の相談先や話ができる窓口等がわかるものがあればよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 周知について、年代に応じた広報が必要であり、紙媒体やSNS等での発信等それぞれに応じた効果的な広報について検討していきたい。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 他の委員で質問や意見があれば伺いたい。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> 西条町でのみ開催しても遠くの人が参加できないのではないかとということで出張おしゃべりカフェを開始され、よいことだと思っていた。それが来年度からなくなるとのことだったが、やはり西条町でのみの開催には抵抗がある。子育て支援センターと連携するなど、出張おしゃべりカフェは続けてほしいとの気持ちはある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 先ほど、「出張おしゃべりカフェ」の名称は統合すると説明した。 おしゃべりカフェは、5～7回での開催を検討しているが、その中には、地域に出向いてやるものも考えており、全く出ていかないということではない。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 他の委員で質問や意見があれば伺いたい。
小勝負委員	<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査の結果から、若い人へのアプローチが大切なことが見えてくる。 イベント等の参加者は意識が高く、自ら行動できる人なので、興味がない人に対してのアプローチ方法が必要だと思う。 一度参加するとリピーターが多いとの結果があり、一度来てみたら興味を持ってもらえ、次回から違うイベントに参加してもらえる機会も増える。 イベントも大切だが、若い人が集まる場所で簡単な啓発活動も必要ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> イベント等を単独でやると参加が難しい場合も多いため、今年度も、家族や夫婦、カップルで参加できる取組も行ってきた。 「講座を開催するので来てください」というだけでなく、例えば、他のイベントの中でブースを設けるなど男女共同参画の啓発について、目に触れる機会を作れば、興味がない人への周知・啓発にもつながる。他のイベントとの連携も検討したほうが良いと考えている。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 「防災」や、「男女共同参画」でのみのイベントでは集客が見込めないため、他のイベント等の集客に対し啓発すれば、関心のない層にもアピールできる。 他の委員で質問や意見があれば伺いたい。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> イベントの抱き合わせは、非常に大事だと思う。若い人は、「男女共同参画」では近寄らないかもしれないが、若い人が集まっているところでコラボすると、気になったりすることもある。 アンコンシャルバイアスについては、若い人の方が少ないと思う。 高齢の方を変えるのは難しいので、そこを頑張るよりも、小さいころから教育するというのは有意義だ。障がいのある人についても、昔と比べて今の子どもは自然に受け入れている。 年配の方のバイアスを取るのは難しいが、若い人が参加しやすいイベントに、高齢者も集まれるようにしておいて、若い人の認識や困っていること、ハラス

議事内容（要旨）	
小坂副会長	メントのような、自分たちの若い頃とは違うところをなんとなくわかってもらえるような環境づくりをすると、少しは変わっていきけるのかと感じている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、祖父と孫でイベントに行けば、高齢の方が今の考え方に触れる機会となり、子どもも自然に身につくこともあると思う。そういった手法を、今一度考えていかなければならないと思っている。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> 若い人と高齢者が触れ合える場所をたくさんつくる。例えば、私は昨年定年退職し、ぬか漬けに凝っている。ぬか漬け教室を開催すると、若い人が来たり、高齢者が講師で教えたりすることで、いろいろな話をして、こういう考え方があることが見えてきたりすることがある。 市内で高齢男性向けの料理教室はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 地域センターで時々やっている。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> 最近、自宅で食事当番が多いが、娘が帰宅して「お父さん、今日は何？」と聞かれると一番腹が立つ。働いている頃は何も思わなかったが「毎日食事の献立を考えている妻はすごい」と思うようになった。ここだけの話、もちろん言わないが、悪いバイアスが働き、娘に「作らないのか」と言いたくなる時もある。 若い人がやっているところで、高齢者が興味のあるようなものを、若い人が高齢者に対して講師をするというものがあれば、近寄れるような気がする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ここで、前延委員が市の公務のため退席します。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 本日出た意見等をご検討いただきたい。 資料3-1の2ページについて、働きやすい職場環境を造りたくても、具体的にどう制度設計していけばいいのか分からないといった悩みを抱えている中小企業が多い。「うちの資源でどうやったらできるのか」という悩みに、具体的なアドバイスができる相談窓口等あれば、前に進む気がする。 啓発に加え、具体的な悩みに応えられるような資源を盛り込んでいくようにしたらよいと思う。 他に意見等なければ、本日の議事は全て終了した。 その他、全般的に意見等があれば伺いたい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> 自由記述に、いろいろな意見が出ていた。計画を策定するにあたり、自由記述の扱い方をどうするか。自由記述には本音が出ている。他の自治体では、このような自由記述の意見をどう扱っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> この回答（意見）を計画書の中にそのまま掲載することはないが、施策を検討するためのヒントの一つとして議論する対象になることはある。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 自由記述には、アイデアとしてよいと思うものがあつたので、生かしていただきたい。 それでは、事務局から連絡事項はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料3-2で、今後の審議会のスケジュール説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 閉会